



「大人の働く姿、本気の言葉に学ぶ」

日向市立財光寺小学校 校長 黒木 将人



地域や企業の方に授業に入っていただくと、いつにも増して子供たちの目が輝きます。

はまぐり碁石のベテラン職人さんは「まだまだ私も修行中、なかなかゴールはない」と力強く語っていただきました。同社の社長さんは「一人でも一步を踏み出さないと変わらない。想いをもち、伝えることが大切」と熱いメッセージを贈っていただきました。地域のパン屋さんは「朝早くから夜まで大変だけど、パンが売れた時は幸せな気持ちになる」と笑顔で話していただきました。トイレ掃除指導をしてくださった建設会社の課長さんは「トイレを磨けば心もきれいになる。道路や建物を造る仕事も丁寧になる」と教えていただきました。

子供たちからは「かっよかった」「職人さんの手が凄かった」「みんなで力を合わせて大きな力にしたい」などの声が聞かれました。数時間の出会いでも、子供たちの心には響いています。これからも、大人の働く姿や本気の言葉に学ぶことで、ふるさとを愛し、将来への夢や希望を抱き続けることでしょう。御支援よろしくお願いたします。

「追い風をいっぱい帆に受けて」

日向市立平岩小中学校 校長 菊池 武司



「日向の子どもたちの未来づくり」、「日向の大人はみな子供たちの先生」…日向市キャリア教育支援センターの掲げるこの言葉が妙に胸にしみることもある。

私は、キャリア教育を実践するたび、子ども達のために仕組んだプログラムであるはずなのに、なぜか自分自身に響いてくるんです。「何のために働くのか。」とは「自分は皆に何ができるのか。」について考え続けることであるということに、キャリア教育の原点があるとすると、私は、「子ども達のために何ができるのか。」と問い続けてきたらうか。教員になることがゴールではなかったはずである。自分自身が、しっかりとした「キャリアプラン」を掲げ、子ども達に夢を語るができる存在であつたらうか。また、よのなか先生の話を聞くたびに、学校組織は、社会の激しい変化に対応できる組織になっているらうか。いや、教育のプロであるべき私自身が、「日向の子ども達の未来づくり」という視点で、日々の教育実践を行い、全教科等で確実に身に付けた力を汎用的に発揮させるキャリア教育を推進しているらうか……。

AIが働き始めた現在、私たち教職員は、人間の強みを改めて洗い出し、未来を生きる子ども達に、「人間は、皆に何ができるのか。」について考えさせ、その資質・能力を確実に身に付けさせる必要があります。そのような中、教育を生業とし、「学び合い・考えさせる」ことのプロである私たちには、キャリア教育支援センターという最高のサポーターがあります。そして、学校運営協議会の設置により、地域の方々がこれまで以上に教育課程に沿って支援していただける体制が整いつつあります。そう考えると、今の教育改革は、私たちにとって大きな追い風となっているのかもしれない。

高森山など豊かな自然の中、平岩地蔵尊や百済王伝説などの歴史的光を受け、よのなか先生等ふるさとの教育資源の追い風をいっぱい帆に受けて、一面に広がる太平洋を未来に向けて、力強く進み続ける学校でありたい。本原稿依頼を受け、改めて、そう考えさせられました。

「誰にも負けない好きなものを1つ見つけよう!」

南日本ハム株式会社 食育広報推進課 松本 紗嬉



中学生時代、理科を担当していた女性の先生の白衣姿に憧れ、それをきっかけに理科が好きになり、工業高校に進学し大学では化学を専攻しました。入社後、専門分野を活かし排水処理や廃棄物など会社の環境管理業務に従事し、地球環境問題について考えさせられるようになりました。現在、環境教育を通して子供達と一緒に環境について考える機会を頂いています。その中で子供たちに「誰にも負けない好きなものを1つ見つけ、自分に自信を持って欲しい」と伝えています。誰にでも苦手なことや、辛いことはあります。

しかし、私自身好きなことや得意なことを伸ばしてきたことで自分に自信を持てるようになり、様々なことを乗り越えながら、現在楽しく仕事をさせていただいています。その為「よのなか先生」を通して、未来の担い手である子供たちの自己肯定感を高めるきっかけづくりに貢献し、次世代が明るい希望を持てるような活動を、今後も積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

「キャリア教育に参加して」

三和消毒有限会社 代表取締役 本田 順継



過日、市内の富島中学校に招かれ、お話すの機会を頂きました。「私の夢」と云うタイトルでした。一年生全員よりお礼状が届き感謝です。

礼状の中に

- 私も本田さんのように頑張ります
- 今日の話を参考に今後の進路に生かしていきたいです
- これからは自分だけでなく、人にためにもなれる様な人になりたく頑張ります
- 本田さんの話はとても面白く、分かり易かった。もっと多くの人に話してあげて下さい等々のメッセージがありました。

私自身が子供達に逆にフレッシュなエネルギーをたくさん貰って帰った次第です。

日向の「よのなか教室」に感謝。私自身の勉強にも励みにもなっているから…



富島中学校

6月7日(金) 2年生 166名

平岩小中学校

6月26日(水) 7▶8▶9年生 75名

職場体験学習(7月、8月実施)の事前学習として両校とも、5人の「よのなか先生」を招聘し、「働くとは?」、「仕事とのやりがいや苦労」、「就くために努力したこと、気を付けたこと」などを語ってもらう「職業人講話」を実施し、子どもたちは、自分の将来の進路などを考える機会となりました。(職種:印刷業、コンサルタント、社会福祉協議会、食肉製造業、建設業、サーファー、海上保安署、セラピスト、消防本部、学芸員)

富島中学校



(左から「よのなか先生」 是沢利保さん 武田珠支子さん 穴谷修志さん 松本紗嬉さん 内山雅仁さん)

平岩小中学校



(左から「よのなか先生」伊久良城二さん 黒木直希さん 川畑咲枝さん 黒木将太郎さん 緒方博文さん)

日知屋小学校 5年生 「グローバルよのなか教室」

5月31日(金)、2020年英語教育のスタートを機に「よのなか先生」、よのなか挑戦協力企業、宮崎大学留学生、JICA九州・宮崎等の協力により25回シリーズが始まる。



サンシャインアカデミー
藤江さん

ケニアの話
嶋田医師

調べ学習

JICA宮崎
田代さん

日向市の
いろんな
産業 会社 仕事

「子供たちの未来づくりのための」
キャリア教育支援の教材 第2弾



6月25日(火)、十屋日向市長に贈呈。昨年の掲載企業は28社から40社に増え、各企業のホームページにアクセスできるようQRコードを掲載。市内全中学校2年生に配布しました。

職場体験の事前・事後学習に役立ててもらいたいと願っています。

